

平成30年度 ぶどうのプール 放課後等デイサービス自己評価表

| | チェック項目 | はい | どちらか いい | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------------------------------|---|----|------------|---------------------------|---------------------------------------|
| 環境・ 体制 整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 適切である。 |
| | 2 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 適切である。 |
| | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | ○ | | 完全ではない。 |
| 業務改善 | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返りに、広く職員が参加しているか | ○ | | | 適時ミーティングを実施している。 |
| | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | | ○ | | アンケートは実施したがどのように改善していくかを検討中。 |
| | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | | | ○ | ホームページを準備中。 |
| | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | ○ | 今後、自己評価表を含め、改善必要。 |
| | 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 社内、外で機会を確保し、職員の資質向上に努めている。 |
| | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 半年に1度、計画を見直し、アセスメントを適切におこなっている。 |
| | 10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | | | ○ | 今後検討していく。 |
| | 11 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | 適切に対応できている。 |
| 適切な 支援の 提供 | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 学習・体験・運動の枠組みの中で工夫をしている。 |
| | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | 年間の活動計画書を作成している。 |
| | 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 個々の状況に応じて作成している。 |
| | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 申し送りを必ず行い、前日の報告また当日の支援方法や役割分担を確認している。 |
| | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか | ○ | | | 送迎終了後、気づいた点等を話している。 |
| | 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 活動日誌をつけている。 |
| | 18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 半年に1度モニタリングを行い支援に繋げている |
| 19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | ○ | | | 個々の状況に応じた発達支援を活動の中で行っている。 | |

| | | | | | | |
|--|---|--|---|--|--|----------------------|
| 関係機関 や保護者 との連携 | 20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか | ○ | | | 主に施設長が参加している。 | |
| | 21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | ○ | | | 学校の予定表や下校時刻表などをいただき情報共有を行っている。遅れる時などは必ず連絡を入れる | |
| | 22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | ○ | | 医療的ケア児童が在籍していないが、服薬等に関しては処方箋を頂いた上で対応している。 | |
| | 23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | | ○ | 就学前児童は在籍なし | |
| | 24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ○ | | | | |
| | 25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | 研修に積極的に参加している。 | |
| | 26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | ○ | 検討していく | |
| | 27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | | | ○ | 実施出来ていない。今後検討していく | |
| | 28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 送迎時や電話連絡等で話す機会設け共通理解を持っている | |
| | 29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | ○ | | | 保護者様からの要望があった場合に対応はできているが、全利用者に対して対応できていない。今後検討していく。 | |
| | 保護者 への説明 責任 | 30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 契約時に行っている。 |
| | | 31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 要望があった時だけの対応になっている。 |
| | | 32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ | | | 保護者会を年に1回開催している。 |
| 非常時 等の 対応 | | 33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | 随時対応。適切に行っている。 |
| | | 34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | 来月の予定表を配布している |
| | | 35 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | 個別ファイルで管理している |
| | | 36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | 送迎時や電話連絡等で伝える様にしている。 |
| | 37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | ○ | 今後検討していく | |
| 38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | | 案内を出し対応している | | |
| 39 非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | 年2回行っている | | |
| 40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | 適切に対応している | | |
| 41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | | 個別支援計画書に記載し保護者様にご納得頂きやむおえない場合のみ実施している。 | | |
| 42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | 調理体験等食べ物を扱うときは、保護者様に確認して必ず指示書に基づき対応している。 | | |
| 43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | 会議等で各事業所と共有しパソコン上に挙げ閲覧出来る様にしている。 | | |